

議会だより

題字は東脊振小学校6年 佐保夢姫さんの作品



表紙写真：国スポ応援！議会も心をひとつに！

Vol.69

令和6年 6月議会号

【第69号の内容】

- 6月定例会…2
- 第8回議会報告会…3
- 賛否状況…4
- 一般質問／10人が登壇…5
- 議員研修報告…15
- 議会の主な活動・意見書・編集後記…16

一般質問ページに、今回から挿入しているQRコードを読み込んでいただきますとYouTubeにて配信している一般質問の動画が閲覧できます。

「議会だより吉野ヶ里」がスマホで見られます！



議員が原稿作成・編集した
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ビー 【発行年月日】令和6年7月25日

吉野ヶ里町議会がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町ホームページ

<http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>にアクセスし、「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリック!!

令和6年第2回 6月議会定例会

今期定例会は6月3日から、11日まで9日間の会期日程で開催された。
提出議案は報告2件、専決処分4件、条例4件、補正予算1件、その他3件、意見書2件の計16議案を審議、可決した。一般質問は10名が登壇した。

専決処分の承認

- 町税条例の一部を改正する条例
- 地方税法の一部を改正する法律等が3月30日に公布されたため。
- 町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 地方税法施行令の一部を改正する政令が3月30日に公布されたため。
- 令和5年度一般会計補正予算
- 9千円を減額。
- 法人町民税の9180万1千円増額及び、同額の財政調整基金繰入金を減額。
- 令和6年度一般会計補正予算
- 4644万8千円を増



駅南の駐輪場予定地

額。吉野ヶ里公園駅駐輪場用地取得のため。

- 一般廃棄物を脊振共同塵芥処理組合施設から佐賀県東部環境施設組合施設で処理することになったため。

その他

- 町道路線の廃止及び認定について
- 県営産業用地内を通る町道の路線を変更するため。
- その他2議案について審議。

補正予算

- 一般会計補正予算の歳入歳出の総額にそれぞれ6億1206万8千円を追加、総額を119億5807万1千円とする。

歳出(主な事業)

- 地場産品創出拡大奨励金ふるさと納税返礼品に関する商品開発、製造拡大等に要した経費に奨励金を交付するもの。150万円



人気のあるふるさと納税返礼品

- コロナ予防接種 2819万円
- 带状疱疹予防接種 373万5千円

- 町史跡「霊仙寺跡」之護法堂「修理費補助 1017万5千円



補修予定の乙護法堂

- 県営産業用地の埋蔵文化財発掘調査支援業務委託料

- 佐賀県からの委託事業 5億2千万円
- 統合庁舎整備用地購入費

統合庁舎整備予定地周辺の道路拡幅により用地や庁舎駐車場のための用地取得をするもの。1380万円

報告

- 令和5年度一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 令和5年度下水道特別会計繰越明許費繰越計算書について

意見書

- 少人数学級・教職員定数の改善義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- 政治資金パーティー裏金問題の再発防止等を求める意見書

議会報告会を開催

5月11日(土) 10時からきらら館において、第8回議会報告会を開催した。18名の町民に参加いただき活発な質疑応答を行った。その議論の一部を報告する。

- 災害有事に備え空家・廃屋対策は。

A 空家バンクの利用については、仏壇がある等の問題で登録が少ない。災害等で近隣に迷惑が生じそうな案件があれば、行政代執行が出来る。

- よりみち広場の店舗は人気で行列ができています。店舗を広げる考えは。

A 駐車場とトイレを整備したが、店舗については指定管理者が独自に整備している。また営業についても任せている。現状広げる予定はない。

- 情報公開請求でコロナワクチンによる副反応の健康被害が本町でも確認できている。

- 議員各位も関心をもって取り組んでほしい。

A 議会としても本件について研鑽を積みながら取り組んでいく。

- コヤ遊具の修理をお願いして5年が経過した。しかし、未だ対応されていない。要望についても意見徴収を役場からされるが何ら対応がない。どういうことか。

A この場合は議会活動であるが、頂戴したご意見は行政へ伝える。

- きらら館、文化体育館周辺の国道385号の渋滞が慢性化している。アクセス道路や道路の拡張などの道路整備を求める。

A 文化体育館から北へ抜ける町道は拡幅予定があり、測量まで終了している。行政において道路マスタープランを作るので、その成果を見て今後追及をしていく。

A 国道385号は当初4車線道路で計画されたが交通量が少なく2車線となった。現在は那珂川市方面も道路整備をしているが完了すれば爆発的に交通量が増加しそうである。今回、中副交差点左折レーン増設の改良工事をしたがこれ以上の要望はしばらく状況を見守る必要がある。統合庁舎完成後の県道整備も今後の検討材料となる。

Q 里山ふれあい広場のフェンス横の草が茂っている。子供たちが川遊びができるように環境を整備していただきたい。

A 数年前、河川整備をしたがその後の

豪雨によりすべて崩れてしまった。子供が自然の中で遊べる環境は大事であるので行政へ伝える。

- 統合庁舎整備に伴い県道吉野ヶ里公園線の久留米分岐までの整備を要望してほしい。

A 本件については用地交渉を幾度となく行っていると聞いていますが、進展はない。必要を要望であり引き続き進言を続けていく。

Q 農林水産業費と商工費が令和5年度当初予算と比して、令和6年度当初予算が減少している。企業進出で優良農地が減少し宅地化しているが、これについてはどう考えるか。

A 中山間地の活用に関して。商工費予算額は前年と変わりはないが、農林水産業費は共同乾燥施設整備の完了が減額理由と考



議会報告会の様子

6月定例会 案件賛否状況

Table with columns for agenda items (e.g., 令和6年度吉野ケ里町一般会計補正予算) and rows for council members (e.g., 鶴恵美子, 中村裕一). Includes a header for '第2回(6月)定例会'.

※議席番号順 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席 —=議長は議決に加わらない

町政にももの申す

スマホのカメラでQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。



わが町の人口政策、どこに力を入れていく方針か



生島信一郎 議員



町長

子育て世帯を積極的に増やしていきたい

Q 移住・定住支援政策のこれまでの成果は。

A まち未来課長 本町では令和2年度より転入奨励金、令和3年度より対象を拡大し定住奨励金を実施しているが、実績としては令和2年度の開始から現在まで216世帯、788人となっている。

また、令和4年度には、佐賀県地方創生移住支援事業により1世帯3人が首都圏より移住してきた。

Q わが町の人口・世帯数はどのように変化したか。

A 住民課長 令和6年4月1日時点で

16147人、6778世帯となっている。伊東町長が就任した平成30年度と比較して人口71人、570世帯増加している。

Q 人口の変化を自然増減、社会増減に分けた場合、どのような変化をしているか。

A 住民課長 令和5年度の自然増減は出生者数143人、死亡者数176人、差し引き33人の自然減。社会増減は転入者数951人、転出者数906人、差し引き45人の社会増である。

Q 自然減の原因は出生数が減っているのが原因か。

A 住民課長 年度によつて傾向は変わるが、出生者数の減少より死亡者数の増加の影響が大きいと思われる。

Q 人口増減を細かく見た上で、人口政策、どこに力を入れていく方針か。

A 町長 現在、年間100戸の増を目標として取り組んでいる。子育て世帯の人員を増やしていきたいと考えている。

子育て世帯を増やしたいのであるが、より効果的な支援策は母子への身体・精神的なケアを重視し、金銭的

住まい・子育てなどの支援

Grid of support services including birth grants, childcare fees, medical expenses, and housing support.

負担の軽減策は幼稚園や小学校入学のタイミングがよいのではないかと。町長 小中学校の入学時に保護者に大きな負担があるのを知っている。財源的な問題はありますが、必要性は感じており検討していきたい。

ましいとの提言があった。町としてどのような方針をとるか。教育長 中学校の統合については、保護者や地域住民の考えを把握した上で慎重に検討をする必要がある。現時点ではいつまでに何をするとといったスケジュールについてはない。

「学校のあり方に関する提言書」
に対する考えは



鶴 恵美子
議員



教育長

中学校は、
統合するのが望ましい

Q 中学校は、適正規模を確保するために、統合が望ましいとされている。教育長の考えは。

A 教育長 今の4校で継続したいが、中学校は統合するのが望ましいと提言書にあるので、それに向けて対応していきたい。

町立保育園について

Q 町立保育園の老朽化が進んでいるいま、地域全体の子育て環境を向上させるため、幼保連携型認定こども園の考えはないか。

A こども・保健課長 今後建て替え等の

際は、児童数や保育施設数など、需要と供給のバランスを考え、民営保育所等が安定的に運営できるように、吉野ヶ里保育園の施設規模や施設自体の必要性、あり方を検証し、認定こども園につい

でも検討したい。

人口増加に結びつくための魅力ある町づくりについて

Q 県営産業用地造成から工場稼働までのスケジュールは。



今年4月に開園した本庄こども園(佐賀市)

A 企画調整課長 令和7年度中に造成工事・確定測量が完了する予定。その後土地売買があり、SUMCO社において工場建設。令和11年度に稼働予定。

Q どのくらいの雇用が見込めるか。

A 企画調整課長 稼働後数年間に千五百人から二千人の雇用が想定されている。

Q 稼働までに住環境整備の計画は。

A 企画調整課長 今のところ町が整備

する計画はない。

Q 「定住奨励金」等定住に結びつく支援はされているが、今後考えられる住宅支援策は。

A こども・保健課長 国の少子化対策重点推進交付金を活用し、夫婦ともに40歳未満の新婚世帯で夫婦の合計所得が五百万円未満等を条件に、住宅購入、賃貸、引越に係る費用等の上限三十万円を助成する「結婚新生活支援事業補助金」を実施している。



吉野ヶ里町子育て支援プラン(HPより閲覧可)

博物館の建設場所は



古川 輝英
議員



町長

公園東口北側に
要望を行っている

Q 佐賀県議会2月定例会において、八谷議員より知事へ吉野ヶ里遺跡に対する思いを発言されているが、知事の回答は。

A 企画調整課長 吉野ヶ里遺跡だからできる保管の在り方、出土品の効果的な見せ方について、様々な方々との意見交換をしたいとの博物館を含めた施設建設について検討を始める考えがある」と述べられている。

Q 現在、県立吉野ヶ里歴史公園内では新たに官民連携事業により吉野ヶ里エリアの価値をさらに高め、東部地域の拠点となる公園づくり

を進められており、このエリア内に博物館の建設が取り込まれないかと危惧されるが。

A 町長 知事には公園東口の北側に要望している。

他に造れるような場所はないと思っている。県事業の中でも大事業であり、優先順位もあると思うので、今後とも要望していく。

統合庁舎等整備の
財源計画について

Q 統合庁舎の進捗状況は。

A まち未来課長 基本設計が終了し、現在実施設計を行って

り、5月中旬より積算に入っている。今後の予定は、7月に積算が終了し、9月に公告、11月に入札を行い、12月に着工となる予定。



博物館建設要望箇所

Q 建設に伴う財源計画は。

A まち未来課長 合併特例債、基金(公用及び公共施設建設基金など5基金)を想定している。

Q 令和2年度策定の「統合庁舎及び中心地づくり基本構想」の財源計画について協議、検討はしたか。

A まち未来課長 庁舎を除く施設については、優先順位を明確

基金管理について

にし、補助事業や官民連携も視野に入れ財源計画を立てていく必要がある。

Q 基金運用の考え方と、取り決めは。

A 会計課長 基金は一括運用し、町長と公金管理委員会構成員に書面で毎月、先月分の定期預金、債券の動き、運用額を報告している。

Q 委員会の役割とは。

A 副町長 令和2年12月、資金調達や運用等を協議する組織として設立され、一回目は令和3年3月に開催。今後の運用の重要点などについて協議を行った。

Q 今後の基金運用計画は。

A 副町長 委員会を早い段階で開催し、資金計画を協議、財源に支障をきたさないようにする。

温水プール どのように考えているのか



吉富光三郎
議員



町長
今の場所以外での
考えはない

Q 温水プール施設が故障のため休館が続くが、町はどのように考えているのか。

A 町長 2年前、議会と協議したが費用の面等で賛同を得られなかった。

今の場所での改修以外、場所を変えて新しく建てる考えはない。

Q 温水プールが昭和59年（1984年）に建てられて今年で40年経つが、このまま休館しても地下の重油タンクは流出防止策を行わなければいけないか。

A 社会教育課長 消防法で設備の期限が定められている。今



休館が続く温水プール

後、消防署からの指導等により改修や撤去を含め検討したい。

防犯カメラの設置は

Q 町民の安心・安全について町も力を入れていますが、防犯カメラ設置状況、設置箇所は、どのようになっているのか。

A 総務課長 安心・安全カメラの設置は令和5年度から行って、20台を設置した。

設置箇所の選定方法は学校教育課で作成した「吉野ヶ里町子ども安全マップ」で声掛け事業や不審者等の出没地点など抽出し、吉野ヶ里町交通対策協議会で決定している。今年度は、7台の設置

を予定しているが、小学校のPTAなどから要望等が出されており、交通対策協議会で協議を行い決定していききたいと考えている。

そのほかに、防犯目的のカメラは27箇所、109台が設置されている。

Q 吉野ヶ里公園駅前交差点は車も人も往来が多い場所。また、今年3月10日午前3時01分に車同士の激しい事故が起きたが、原因が解らず警察も目撃者の看板を立てており、今も立っている。

通学路でもある交差点、車も人も多い場所、防犯カメラ設置を早急にできないか。

A 町長 計画はあったが立てる場所がなかったり、必要な場所には優先順位を上げて、子ども達の安全面からも設置していききたい。

また、古い防犯カメラもかなりの数があり、随

時更新していききたい。

Q 苔野・田手村線や駅通りの歩道（幅も広い）に自転車専用レーン等、歩行者の安全対策の考えは。

A 総務課長 当該箇所では横断歩道のカラー化やポラード（車進入止め）の設置などで通学児童・生徒の安全対策を進めており、自転車専用レーンの設置等も、今後検討事項として審議していききたい。



防犯カメラ付き自動販売機

区長の業務軽減や簡素化はできないか



中村 裕一
議員



総務課長
必要に応じて
協議・変更を行っていききたい

Q 委託業務内容はどうのようなものがあるのか。

A 総務課長 ①町との連絡調整 ②世帯別居住者の把握 ③各種印刷物等配布、回覧 ④要望事項の作成提出 ⑤各調査報告書のとりまとめ及び収納に関すること等多岐になる。

Q 各種印刷物等は毎週木曜日（第2木曜及び年末年始を除く）に配布があるが、少し簡素化できないか。

A 総務課長 必要に応じて協議、変更等を行っていききたい

Q 私道・里道の工事に伴う同意書と分担金について見直しは出来ないか。

A 町長 同意書については個人情報が見関係するので簡単には見

直しは出来ない。分担金については、「吉野ヶ里生活道路改良工事分担金徴収条例」がある。町の制度における経緯等及び今後の状況等を踏まえた上で検討していききたい。

ジャンボタニシの被害は

Q 昨年は特に被害が多かった。被害の状況は。

A 農林課長 梅雨の期間が長くて田植え以降の雨が例年より多く、浅水管理が難しく、また、駆除薬剤の散布3〜4日は、圃場の湛水状態が長雨で維持が難しく、水路から水田に侵入が多くなり、被害が多く発生した。

Q 昨年の状況からみて新たな対策や支援策は検討されたか。冬季の暖気で越冬量が多いと予測されるが防除対策は。

A 農林課長 駆除の経費に薬剤の補助金の交付を行う。10aあたり



ジャンボタニシの被害状況

4kgを限度として1kg当たり250円を交付する。また、田植え後の浅水管理、薬剤との組み合わせで被害を抑えることができるかと考えられる。また、越冬したジャンボタニシも、先月の生産組合長会議等で防除徹底についてのチラシを配布し、説明を行っている。引き続きJAと協力して注意喚起を行なっていく。

自治会によって資源ごみ等収集に温度差 拠点数に応じた基準額を



多良 光秀
議員



住民課長

要綱の改正が必要
検討課題とする

Q 資源ごみ等収集拠点の収集箇所数は。

A 住民課長 拠点1箇所あたり150戸程度を目安として、60箇所の資源ごみ等収集拠点が設置された。

Q 自治会単位では、目達原地区が5箇所、萩原・上豆田地区4箇所、吉田・立野地区3箇所、田手村地区2箇所、その他各地区に1箇所の収集拠点となっている。

A 住民課長 基礎額2万円に自治組織

Q 各地区に資源ごみ地区協力金として支出しているが、1地区当たりの交付額と総額は。

A 住民課長 基礎額2万円に自治組織



分別ごみ収集場所（指導員）

内の世帯数に1000円を乗じて得た額を加算した額とし、7万円を限度としていて、交付額が一番少ない自治会は田中地区の21400円、横田・

目達原・立野地区は限度額の7万円、協力金総額は145万2500円となっている。

Q 自治会によって交付額の違いで温度差が出ている。「吉野ヶ里町資源ごみ地区協力金交付要綱」の趣旨に「地区ごみ置き場の管理を行う自治組織に対して協力金を交付する」とある。拠点数に応じた基準額を決めるべく変更を。

A 住民課長 資源ごみ地区協力金の算出にあたっては、資源ごみ等収集拠点の箇所数に応じて交付するものではなく、自治会の規模（世帯数）に応じて交付してい

Q 自治会によって交付額の違いで温度差が出ている。「吉野ヶ里町資源ごみ地区協力金交付要綱」の趣旨に「地区ごみ置き場の管理を行う自治組織に対して協力金を交付する」とある。拠点数に応じた基準額を決めるべく変更を。

A 住民課長 分別ごみを指導員の方が分別し直すといった負担が生じているので、モラルを持って正しく分別していただくよう広報誌等を通して啓発していく。

Q 資源ごみ等収集拠点の縮小や収集回数の見直しの検討は。



モラル向上の看板

Q 資源ごみ等収集拠点への持ち込みに関しても、苦情など

A 住民課長 分別ごみを指導員の方が分別し直すといった負担が生じているので、モラルを持って正しく分別していただくよう広報誌等を通して啓発していく。

とは可能で、今年度から月2回収集を1回に減らした自治会は6地区、拠点を2拠点から1拠点到減らした自治会もあり、区長との調整を図りながら地区の意向に沿った形で対応する。

Q 外国籍の方々に対しての啓発は。

A 住民課長 外国人を対象とした日本語教室の中で、ごみ出しをテーマに取り上げていきたい。

会員減少で危機的状況の 老人クラブ連合会、その対策は



木下大学
議員



町長

行事の必要経費にどのように対応するか考える必要がある

Q 高齢者（単身・夫婦のみ）の世帯数は。

A 住民課長 単身世帯数は表のとおり

であり、夫婦のみの世帯数は三田川校区420世帯、東脊振校区255世帯、合計675世帯、総世帯数6792世帯に占める割合は9.94%になる。

Q 物価高直撃で、生活保護申請が最多との報道があるが、我が町の生活保護受給世帯の数と高齢者（65歳以上）世帯の占める割合は。

A 福祉課長 令和6年4月末現在で、83世帯、その内、65歳以上の高齢者のみの世帯は45世帯で、割合は54%となっている。

Q 活保護申請が最多との報道があるが、我が町の生活保護受給世帯の数と高齢者（65歳以上）世帯の占める割合は。

A 福祉課長 令和6年4月末現在で、83世帯、その内、65歳以上の高齢者のみの世帯は45世帯で、割合は54%となっている。

Q 物価高直撃で、生活保護申請が最多との報道があるが、我が町の生活保護受給世帯の数と高齢者（65歳以上）世帯の占める割合は。

町長

行事の必要経費にどのように対応するか考える必要がある

A 福祉課長 継続する事が「通いの場」の目標でもあり、現在、全地区で自主活動として継続している。

Q 老人クラブの活動は、サークル及び花植・美化活動と親睦旅行等を計画しているが、利用できる大型バスの利用状況の推移は。

A 総務課長 令和3年度4回90名、令和4年度15回422名、令和5年度20回468名。

Q 老人クラブの活動は、サークル及び花植・美化活動と親睦旅行等を計画しているが、利用できる大型バスの利用状況の推移は。

年度	件数	寄付額 (千円)
平成30年度	15,975	1,918,519
令和元年度	3,729	171,102
令和2年度	34,484	713,361
令和3年度	103,455	1,582,616
令和4年度	166,683	2,183,801
令和5年度	277,800	3,665,489

左表のとおり。

ふるさと納税のこれからの計画について

Q 会員減少で危機的状況の老人クラブ連合会。今後の対策は。

A 町長 行事等の必要経費にどのように対応するか、考える必要がある。

Q ふるさと納税の件数と金額の推移は。

A 企画調整課長 平成30年度分からは左表のとおり。

Q ふるさと納税ポータルサイトの数は。

A 企画調整課長 13サイトに6月中旬に2社追加し、15サイトになる。メリットは、寄付に対する入り口を広め、各サイトの会員の誘客により寄付金の獲得につながると思っている。

Q ふるさと納税ポータルサイトの数は。

A 企画調整課長 13サイトに6月中旬に2社追加し、15サイトになる。メリットは、寄付に対する入り口を広め、各サイトの会員の誘客により寄付金の獲得につながると思っている。

Q ふるさと納税の目録は。

A 町長 小さいお店でも、本物を出して頑張れば、金額は自然と伸びてくる。スタッフ全員で取り組んでいるので、それを期待している。

Q ふるさと納税の目録は。

A 町長 小さいお店でも、本物を出して頑張れば、金額は自然と伸びてくる。スタッフ全員で取り組んでいるので、それを期待している。

高齢者世帯数（令和6年5月27日現在）

	三田川校区	東脊振校区	計
男性	178	99	277
女性	438	172	610
全体	616	271	887
総全世帯数6,792世帯に占める割合(%)			13.06

統合庁舎建設後、中心地づくりに対する財政計画はどうか



森田 浩文 議員



町 長

防衛省補助事業を申請したい

Q 予定する事業の概要は。

A まち未来課長 統合庁舎・図書館・コミュニティセンターの3つを必須機能とし、中学校・保育園・防災食育センター・健康福祉センターの4つを任意機能として検討。約8ha敷地規模、約147億円の予算規模を想定。

Q 2庁舎を含めた財産処分計画が必要。

A 町長 2庁舎処分は必要だが、財産処分には相当の理由も必要。土地利用計画を図り計画は。

ながら防衛省補助事業を申請したい。

地場産業の育成について

Q 大手半導体関連企業SUMCO社誘致等、勢いを感じる町政が進む本町。

A 商工観光課長 日本茶樹栽培発祥地である霊仙寺を有すことから、栄西茶の販売とPRに努めている。



霊仙寺前の茶畑

A 農林課長 米・麦を中心に、いちご

アスパラガス等の農産物の生産が盛んである。脊振ジビエも人気だが、吉

野ヶ里町らしい農産加工品が少ないのが課題。

Q ふるさと納税は好調であるが、多くの工程が町内での完結が求められるようになる。小規模事業者でも事業参画・販路拡大が叶うよう、OEMによる製造受託できる施設整備の考えは。

A 企画調整課長 「ふるさと納税活用型企業誘致・育成条例」が可決された。この事業の活用が事業者支援に繋がればと考える。

Q 利用が振るわないさとやま交流館。充実した施設を活かしふるさと納税返礼品製造の拠点、バーベキュー利用、アウトドアスポーツなどの拠点など様々な用途変更が可能かと考えるが如何か。

A 農林課長 バーベキューは不特定多数の利用による管理上の問題点があり許可をして

いない。アウトドアについては吉野ヶ里歴史公園園内にてキャンプ施設整備の計画もあり動向を見守りたい。



さとやま交流館の様子

※それ以外の質問
・発達障害や対人的コミュニケーションがある方の受け皿としてIT企業誘致の考えは
・PFI手法を導入した財政計画の在り方
・防衛省補助事業の詳細
・基金利用計画

入居契約時の連帯保証人は何名か



小川 勝利 議員



建設事業課長

本年度より1名に変更

Q 町営住宅の空き室(戸数)について。

A 建設事業課長 令和6年4月30日時点において155戸、その内43戸は政策空き家、現状入居できる空き室は62戸。

Q 町営住宅の家賃滞納額はどのくらいあるのか。

A 建設事業課長 令和6年4月時点における町営住宅家賃の滞納額については約1600万円となっている。

Q 家賃滞納があった場合の対処方法は。

A 建設事業課長 町営住宅の家賃滞納

における対処については『吉野ヶ里町営住宅家賃滞納整理事務処理要綱』において事務処理を行っており、滞納金が1ヶ月以上2ヶ月以内の滞納者については「督促状」を発送し、電話連絡及び住居訪問指導を行っている。

Q 入居契約時の連帯保証人は何名必要か。

A 建設事業課長 いままでは2人だったが、令和6年度からは1名に変更。その連帯保証人(1名)の確保も難しい方は身元引受人を定めた上で、本町と家賃債務保証会社との契約にお

いて、町営住宅への入居が可能となっている。

Q 保証人の機能は稼働しているのか。

A 建設事業課長 町営住宅家賃の滞納期間が3ヶ月以上5ヶ月以内の滞納者については、「催告状」の送付及び電話連絡、入居者への訪問等を行い、分割納付誓約書を提出していただいている。分割納付誓約書を履行されない滞納者については、連帯保証人への通知を行っている。

分割納付誓約書にどうしても応じていただけない滞納者に対しては、これまで連帯保証人へ1度通知を送付した実績があ

る。町営住宅家賃滞納者へ連絡がなされ、その後、滞納者が分割納付誓約書の提出を行い、それに基づき家賃の納付が履行されたため、連帯保証人は重要な役割を担っていると考えている。

Q 保証会社の役割は家賃保証だけか。

A 建設事業課長 滞納時12ヶ月分の家賃保証及び残置物処理の保証も入っている。

Q 賃貸借契約書は何年で更新しているのか。

A 建設事業課長 町営住宅賃貸借契約書についての更新は入居継承等(世帯主などの変更)以外では行っていないが、連帯保証人の更新については、5年を超えない範囲で書面にて更新を行っている。



入居者募集中の「中の原団地」



入居者募集中の「川原団地」



佐賀県東部環境施設組合
佐賀東部クリーンエコランド／外観(カタログより)

5月13日、全議員で鳥栖市真木町に建設された「佐賀東部クリーンエコランド」を視察した。脊振共同塵芥処理組合（脊振広域クリーンセンター）の閉鎖に伴い、神埼市及び吉野ヶ里町を加えた2市3町で広域化することにより、処理の効率性や経済性の向上、地球温暖化防止や災害対策の充実に図ることが出来る施設である。

佐賀東部クリーンエコランド視察



説明をうける全議員たち

本町から回収された「燃えるごみ」はこの施設に運ばれ、最新のストリーカ式焼却炉にて高温焼却を行い、わずかな灰コンクリート二次製品



処理工程の様子

やメタル（レアメタル）、飛灰（セメント原料）として原料化施設に搬出されている。芝生公園やキッズスペースの設置その他、災害時の施設一部利用も考えられた、私たちの町の未来を守る施設となっていた。

兵庫祭

5月10日、佐賀鍋島藩家老であり、蛤水道などの治水事業を手掛け、江戸時代「治水の神様」として知られる成富兵庫茂安（1560〜1634年）の功績をたたえる式



兵庫祭の様子

典「兵庫祭」が、吉野ヶ里町松隈の蛤水道遊水池近くの水功碑前で開かれた。成富兵庫茂安公は、数多くの治水事業に取り組み、吉野ヶ里町においては、農業用水や飲用水を導くための利水開発である「蛤水道」を築いたことで知られている。茂安公の偉業を称し、吉野ヶ里町では毎年行われる恒例の行事となっている。祭典には町内外から多数の関係者に参列頂き、水功碑前で感謝の意を捧



栄西禅師供養の様子／修学院にて

げるとともに、茂安公の功績を後世に伝えていく必要性を感じた。5月15日、「脊振千坊聖茶祭り」が吉野ヶ里町松隈にある修学院で開催された。日本の生活文化に欠かせないお茶は、臨済宗の開祖・栄西禅師が中国から種を持ち帰り、脊振山霊仙寺に蒔いたのが始まりとされている。その栄西禅師の功績をたたえて、毎年供養を行っている。

脊振千坊聖茶祭り

Q 令和6年度の本田の耕作面積は。また、これまでの耕作面積の推移は。

A 農林課長 平成25年度763ha、令和元年度738ha、令和4年度717ha、令和5年度716ha、令和6年度687haとなっている。

Q 町外の農家の方が耕作されている面積はどれ程あるか。

A 農林課長 神埼市有限会社等で約30.3ha、上峰町より3名約1ha、みやき町より9名約7.3ha、佐賀市、筑紫野市、久留米市より耕作に来ており、町外の方の面積は

約39.3haとなっている。

Q 令和6年度は前年度から29ha優良農地が減少している。要因として県営産業用地と、町長が打ち出している民間を活用した年間100戸の住宅開発と考えられるが、この現状をどのように考えられるか。

A 町長 農除外の許可を受け実施している北部地区をみた場合、高速道路周辺を希望される企業が多くあり、県の指導を賜り地域都市計画、地区計画を見直す必要があるのではないかと考えている。公園駅、両庁舎から直径1.5kmの範囲の農振

除外ができるところに計画している。今日迄に216戸の方が生まれ、開発予定として約200戸近くある。

今後、農地を守るため手続きを踏みながら進めていきたい。



新しく建てられた共同乾燥施設

Q 本町独自の農業支援策等の取り組み

A 農林課長 共同乾燥施設補助、佐賀県農業大学校での農耕用大型トラクターの運転免許試験の研修費用の補助などを行っている。

Q 高齢化する農業従事者へ、町としての支援で、草刈り作業や四輪草刈機購入補助などの支援の考えは。

A 農林課長 国の支援策として、中山間地域直接支払制度を活用し、上三津東保全会が唯一活動されている。また、多面的機能支払交付金では、町内25地区において活動組織を立ち上げ、農用地を維持管理するための支援策を受けている。

Q 荒廃農地対策を、環境保全策として起耕することなどに対する補助は出来ないか。

A 町長 手を入れないといけない農地が多くあるが、農業従事



宅地化された農地



荒廃した農地

者の高齢化でさらに増えていく恐れがある。なんらかの策を講じていかなければならないと考えるが、先程の提案を組織的に出来ないのか、今後検討していきたい。

議会の主な活動

3月 4月 5月
(2名以上で参加した行事や会議等)

5月					4月					3月																
30日	28日	25日	24日	21日	18日	17日	15日	13日	11日	18日	12日	11日	8日	7日	4日	31日	28日	18日	16日	15日	11日	8日	7日	6日	4日	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
神崎市・吉野ヶ里町水防協議会			SAGA2024吉野ヶ里町実行委員会第4回総会			東脊振・三田川中体育大会			議会議長・副議長研修会(22日)			佐賀中部広域連合臨時会			議会議長・副議長研修会(22日)			東脊振・三田川中体育大会			議会議長・副議長研修会(22日)			東脊振・三田川中体育大会		

意見書

少人数学級・教職員定数の改善、義務教育費国庫負担制度拡充にか
かる意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積している。

2021年の法改正により、小学校の学級編制基準は段階的に35人に引き下げられ、25年に完了となる。

一方、厳しい財政状況の中、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題である。

子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

よって、国会及び政府においては、地方教育行政実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように5項目を定める意見書を提出。

政治資金パーティー裏金問題の再発防止等を求める意見書

政治資金パーティーに関する収入の一部が政治資金収支報告書に記載されていないことが、議員側にもキックバックし議員側も収支報告書に記載していないことが判明した。

政治資金規正法違反として立件された事案や、いわゆる裏金疑惑が指摘されている事案が連日報道され、国民の間に政治に対する不信感が広がっている。

政治資金規正法の本旨に立ち返り、基準の明確化、収支報告書等への記載・公表の徹底その他必要な見直しを行い、再発防止と政治に対する国民の理解と信頼回復に誠心誠意取り組みよう意見書を提出。

編集後記

早いもので、議会改選後2年が経過し、今回の「議会だより」の編集委員の構成メンバーが変わりました。

前期2年間担当された委員に劣ることなく、親しみやすい紙面づくりを努めてまいりますので、よろしく願います。

(佐千生)



○議会広報特別委員会

- 委員長 筒井佐千生
- 副委員長 森田 浩文
- 委員 古川 清春
- 生島信一郎
- 木下 大学
- 鶴 恵美子